

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	ごみ減量対策事業		担当部署	市民環境部 クリーンセンター-廃棄物対策課		
総合計画体系			根拠法令計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成	11年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終了	未定
(小項目)		ごみ処理				
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進				
基本事業	1	循環型社会形成への取り組み				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	EMボカシの無料配布やコンポストの斡旋、生ごみ処理機の購入補助等、既存の事業の普及を図るとともに、市民全体を対象とした、さらなるごみの減量や発生抑制、再資源化について、具体的かつ実効性のある取り組みに関する啓発を推進する。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	コンポスト38個 273,600円 EMボカシ180個 213,840円 電気式生ごみ処理機40基 800,000円 計1,287,440円 EMボカシの無料配布やコンポストの斡旋、生ごみ処理機の購入補助等、既存の事業の普及を図るとともに、市民全体を対象とした、さらなるごみの減量や発生抑制、再資源化について、具体的な取り組みや実効性のある啓発を推進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)	20,000	19,900	19,750	19,530	19,310	t

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	コンポスト23個 182,060円 EMボカシ235個 279,180円 電気式生ごみ処理機30基 600,000円 計1,061,240円 例年同様社会科副読本を配付。ごみ減量スローガンコンクールを実施。最優秀作品をごみ収集車の側面にプリントし、ごみ減量の啓発を行った。広報紙等でEMボカシや生ごみ処理機等を利用したごみの発生抑制や再生利用について情報発信するとともに、テレビ広報等のメディアを活用し、分別の徹底とごみ出しルールについて周知した。出前講座等でマイバッグを作成し、レジ袋削減の必要性やごみの減量、再資源化について講習・啓発を行った。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	EMボカシ無料配付	270	235	180	180	180	世帯
	2	コンポスト斡旋+電気式生ごみ処理機購入補助	67	53	78	78	78	世帯
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)		19,918	20,318	-	-	-	t
	目標達成率(実績/目標)			97.9	-	-	-	%
今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	2,015	0	2,015
		全体予算額		0	0	0	2,015	0	2,015
		決算額		0	0	0	1,707	0	1,707
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,517千円/人)	臨時職員(2,012千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.8	0.0	5,214		6,921			

【事務事業名:ごみ減量対策事業】

【鳴門市行政評価】

(千円)

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	1,754	1,707	2,802	2,802	2,802
	うち一般財源	0	0	0	0	0
	人件費	5,214	5,214	5,214	5,214	5,214
	総事業費	6,968	6,921	8,016	8,016	8,016

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		ごみの分別方法や処理の実態を知ってもらい、ごみ減量への意識の更なる向上を図る必要がある。
	効率性	B:概ね効率的だった		関係課との調整も問題なく、事務効率も良くなった。
②成果に対する評価	指標名	全体のごみ排出量(資源ごみ集団回収を除く)		継続してごみ減量補助制度と啓発を行ってきたが、全体のごみ排出量は微増してしまった。
	目標	19,900	t	
	実績	20,318	t	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		C		継続してごみ減量補助制度と啓発を行ってきたが、全体のごみ排出量は微増してしまったためC評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	ごみ減量補助制度の利用者数も減少していることから、今後は現事業を推進するとともに、啓発活動を強化する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	現事業を推進するとともに、啓発活動を強化する。			
	H28年度	同上			